



新春特別号

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

頌春



撮影：藤田一彦 2007年12月10日（豊頃のはるにれの木）

大運動の思いを胸に 新しい年を 力強く前進しよう

理事長 浅沼建樹

新年おめでとうございます。昨年の皆さんの奮闘に心から敬意を表します。特に、秋の大運動では、友の会はもちろんのこと職員ひとりひとりが力を発揮して大きな成果をあげることができました。思いをひとつにして力をあわせたことの大切さをあらためて教えてくれた昨年の活動だったと思います。

今年はどうな一年になるのでしょうか。参議院の与野党逆転という有利な局面の中で一定の成果も勝ち取ってきてはいますが、基本的な政治の流れは変わっていません。社会保障の切捨ての中で、健康弱者、生活弱者への矛盾のしわ寄せはさらに強まります。原油価格の高騰が続き国民は悲鳴をあげています。北海道民

本年もよろしく お願いいたします

医療法人十勝勤労者医療協会

理事長

浅沼建樹

専務理事

今野光昭

常任理事

片桐正晃 真田若子

深町知博

理事

稲葉典昭 小杉倉野 夫美

笠松信幸 杉野智 雄子

曾屋孝通 高野幸晴 友隆

高橋直勝 中村 上

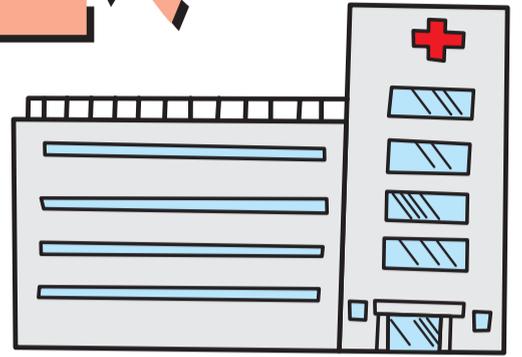
中野明勲

監事

木田将実 高橋 忠

他職員一同

安全な病棟をめざし着工へ



帯広病院の改築工事は、改正建築基準法の施行に伴い確認申請判定が大幅に遅れていましたがようやく確認済証が交付され、年明け早々に着工することとなりました。

これまで準備を進めてきた建設委員会の瀬川高志医師(中央写真左)と野口寿恵看護師長(写真右)から話を聞きました。

野口 入院の大半は高齢者

帯広病院の病棟に入院する患者さんの大半は高齢者で、その半数は介助が必要な方です。治療の援助はもちろんですが、退院後の在宅サービスや他施設の条件が整うまでの間も、ケアを継続するのが病棟の特徴でもあります。また高齢者の中には、終末期を迎える方もいます。私たちは、そんな患者さんやご家族に悔いの残らない療養をして頂くため、ご希望に沿って『想い出作り』に取り

組んでいます。

数年前に比べて、要介助者の割合が高くなってきた今は、看護師の他にヘルパーも加わって介護に携わっていますが、マンパワーだけでは補えない不自由さをひしひしと感じています。

それでも、治療や安静で寝たきりにならないように、食事はベッドではなくホールで座って食べたり、排泄はオムツに頼りすぎずトイレを利用するように心がけています。暖かい日には車椅子で病棟の周りを散歩するなど、気分転換や生活リズムを整えるのも人手がいることですが、ヘルパーと協力して行っています。

病室は古く狭い

ところが、築二〇年の病室は古く狭く、ベッドの周りが狭くて、どんな介助をするにも一苦労です。こんな事をいうと「入院したくない」と思われるかも知れませんが、すきま風は吹くのにトイレの臭いはこもってなかなか消えません。身障者用のトイレは一つしかないで、廊下に順番待ちの列ができることもあります。おまけにお風呂は埋め込み式で、慎重に注意深く出入りの介助をしても危険と隣り合わせです。特に終末期を迎える方には、ゆつくり穏やかに過ごして欲しいという思いでケアしているのに、隣の部屋の会話が

筒抜けになってしまいうこともあります。

病棟には、もちろん急な症状で入院する方がいますから、今の病棟の構造では治療の援助と療養生活の援助を無理なく両立させることは難しいのが現状です。今回のリニューアルでは、どの患者さんも広く使える病室で、トイレや浴室などの設備も使いやすい造りに変わります。狭くて閉鎖的な詰め所はオープンカウンターとなり、病棟内には患者さんや面会者が談話できるスペースも増えます。さらに、介助が必要な方と終末期を迎える方の部屋の配置は、それぞれの療養に適した環境に近づける工夫をして

います。

このリニューアルによって、今の不自由さの大部分が解消され、患者さんの療養環境としても職員の働く環境としても良い病棟に生まれ変わるのではないかと今から期待しています。

入院中であっても季節を感じて療養して頂けるように、と続けてきた年二回の行事も、最近はいデアに富み、看護師が中心になっていろいろな職種と協力しながら取り組んでいます。夏は、病棟の廊下に本物の竹を置いて、ミニトマトや煮エビも流れる「流しソーメン」を、冬の「クリスマス会」では患者さんも一緒に企画に加わって楽し

める催しを行ってきました。さらに今年は、長期の療養をしている方の要望がきっかけとなり、病棟で初めての「コンサート」を成功させることもできました。

オープンを心待ち

環境が良くなれば、もっと新しいアイデアが生まれたり、患者さんの要望に応えられることが増えるかも知れません。こうした「生活」を意識した療養の援助ができるようになることもリニューアルの目的の一つだと思っています。

当病棟において、高齢者が病気になったときに、重介護や認知症であっても受け入れ、治療しながら適切なケアを継続することは重要な役割です。また、自宅では介護を受けられず、施設等の療養先が定まらない高齢者が地域や管内の医療機関から紹介されてくることも少なくありません。こうした、行き場に困った高齢者にも関わり、個人に合った療養の場を決めていく役割を持つことも、勤医協への期待に応えることだと思っています。

さらに、治らない病気と闘う患者さんが短い余生を家族とともに穏やかに過ごし、療養しながらも



入院中でも季節感を感じて頂こうと流しソーメン(昨年7月)

ささやかな希望を叶えるために、私たちは医師をはじめ多職種と連携し協力することを惜しみません。悔いなく人生を締めくくる援助をこの先も続けていきたいと思っています。

とはいえ、工事が始まるのはこれからです。完成するまでは不自由な病棟に変わりありません。工事が始まれば、今度は大きな音や振動も感じるでしょう。患者さんの不自由を最小限にするために、今の私には考えなければならぬことが山ほどありますが、「入院したくない」と言われないうちに、職場みんなの力で、無事にリニューアルオープンを迎えたいと思っています。

瀬川

病棟リニューアルに向けて

私が十勝勤医協に始めて赴任してから、もう一

この一〇年ほどを見ても、帯広病院の患者さんに変化が見られます。その変化とは「高齢化」と

入院患者の変化と医療者の仕事の変化

この一〇年ほどを見ても、帯広病院の患者さんに変化が見られます。その変化とは「高齢化」と

着工が決まり、夢と期待を膨らます瀬川医師と野口看護師長

快適で

病院棟 リニューアル



聖公会幼稚園園長の小貫耕喜さんが歌声を披露(昨年5月)

「重症化」「介護度の上昇」といえます。十勝勤医協は元々高齢者比率の高い医療機関でしたが、更にそれが進行しています。それに伴って疾病構造も重症化・複雑化して、治療に対して反応が悪くその上回復までに時間がかかるようになってい

交換、食事介助やベッド移動など介護・介助の比重が高まっています。患者さんは思ったほど改善が見られずいららうし、看護師は一晚中トイレの介助や体位交換、おむつの取り替えに走り回ってへとへとになる。現在の帯広病院は患者さん、医療者ともにストレスのかかる医療現場となつてい

があります。これは患者さんを守るばかりではなく、医療者をも事故から守ることになります。入院して楽しい？
病棟に
今後の帯広病院は、高齢者を中心とした亜急性期医療と、癌などの末期で看取りの医療などに代表される比較的ゆっくりと腰を据えて療養を行う緩和医療、そして肺炎や胆嚢炎、軽度の脳梗塞や耳鼻科疾患などの急性期医療、これらの異なる医療要求を上手く組み合わせる必要があります。これは二〇〇八年という情勢と十勝の医療圏、そして勤医協を支えてくださる皆さんから強く求められているものだと思います。また、他の医療機

関との連携も重視しなければなりません。手術をお願いした患者さんが戻ってきたり、専門治療を終了して在宅に戻るための準備を帯広病院で行うことも大切な業務となります。しかし、現在の帯広病院の状況では満足いく医療を提供できないばかりでなく、一歩間違えば他の医療機関から取り残されていく危険性があります。現在では、親切でよい医療はこの医療機関でも当たり前に行われています。ましてや入院治療は、患者さんにとっては正常な生活ではありません。そんな異常な環境での治療・療養をいかに快適に安全に過ごして頂けるか、この点に対する意識がなければこのリニューアルは成功しません。そのため可能

時代は安全性と快適性

実際に、私が昨年の秋に怪我で入院して痛感したことは、ナースコールを押してもすぐに看護師が来ないことはかなりのストレスだと言ったこと。点滴が終わって対応してもらわないでわすか二三分が非常に長く感じ、そしていらいらさせられたものです。完全な個室

(一泊八千円！の差額ベッド料を払わされて)であつてもそうなので、患者さん、今の帯広病院ではなおさらですね。六人部屋でしきりはカーテン一枚、プライバシーもなければ快適性も全く低い状況です。いびきもかけなければおならも気持ちよく出せない。ましてやベッドの周りは狭くて物がたくさんあり、安全性の面でも問題だらけです。本来病院は病気を治し元

気になって家へ帰るため病院は安全性という面では明らかにその基準を満たしていない。転倒・転落は当然ですがどんな些細な事故も起こしてはならないのが医療機関です。そのためにはゆとりを持つた療養環境との快適な設備をそろえる必要

が重要です。これは患者さんを守るばかりではなく、医療者をも事故から守ることになります。入院して楽しい？
病棟に
今後の帯広病院は、高齢者を中心とした亜急性期医療と、癌などの末期で看取りの医療などに代表される比較的ゆっくりと腰を据えて療養を行う緩和医療、そして肺炎や胆嚢炎、軽度の脳梗塞や耳鼻科疾患などの急性期医療、これらの異なる医療要求を上手く組み合わせる必要があります。これは二〇〇八年という情勢と十勝の医療圏、そして勤医協を支えてくださる皆さんから強く求められているものだと思います。また、他の医療機

な限りのゆとりを持った安心、安全な病棟で過ごして頂けるようになりリニューアルにしたいのです。車いす同士がぶつからない広い廊下、窓からは明るい光が差し込む。六人部屋は廃止して、最大でも四人までの病室とした。個室も多くして清潔なベッドと必要なプライバシーが保たれるようにして、そこからは患者さんと看護師の笑い声が聞こえてくる。終末期を過ごす部屋ではゆったりと充実した時間が流れる。詰め所では清潔で余裕ある業務が行われる。そんな入院が楽しくなる帯広病院はいかがでしょうか？年の初め位は良い夢を見たいものですが、今年は何を現実にするときです。是非ともご協力をお願い致します。

憲法を守り活かし、安心して住み続けられるまちづくりを進めよう



会長 中井 秀紀

北海道民主医療機関連合会

新年あけましておめでとうございます。

この間、医療費抑制政策のもと、北海道では医療崩壊が進行しています。一方、慢性的な医師・看護師不足の声は全道・全国で大きなうねりとなり、二度にわたる国会での「看護師増員」の決議、

昨年十一月十七日の「医師不足問題を考える道民と医療者のつどい」の成功は、「もうこれ以上我慢できない！」という住民の願いに込める医療従事者などの声が反映されたものとなりまして、また、後期高齢者医

療制度導入などへの反対運動は、瞬く間に全道・全国を駆けめぐり、「命に年令の差別は許さない」と大きく広がっています。

平和あつての命です。二十六万人を超える友の会の皆さんと共に、憲法第九条・第二十五条を守り活かし、安心して住み続けられるまちづくりを進めましょう。

皆さんが健康で活躍できることを心から期待し、年頭のあいさつと致します。

みなさん、新年おめでとうございます。先ずはじめに、昨年十一月に全道で取り組んだ「共同組織拡大・強化月間」において多くの新しい仲間を迎えることができたことにたいし、ご奮闘いただいたみなさんに、深く感謝いたしま

地域にアンテナを張りめぐらせいのちと健康を守る運動を広げよう



会長 高野 幸雄

北海道民医療友の会連合会

す。おかげで、友の会員は全道で二十六万七千人を、「いつでも元気」読者は六千七百人を超える到達となりました。

さて、四月より後期高齢者医療制度や、二〇二五年までに医療費を八兆円削減する「医療費適正化計画」がスタートしま

す。医師・看護師不足などによる地域医療の崩壊も深刻です。年金引き下げに加えての増税、灯油の急騰など暮らしも脅かされているなかで、病院にかかれなくなる患者さん、生活そのものが成り立たなくなる住民がいつそう増え続けることが危

惧されます。このような時だからこそ、私たち友の会の出番です。民医連の院所・職員と固く手を結んで地域にアンテナを張りめぐらせ、困難を抱える住民を守り支え合い、いのちと健康を守る運動を大きく発展させていくことが求められています。今年十月には旭川市で第九回全道友の会活動交流集会を開催します。各地の取り組みを持ち寄って大いに交流しましょう。みなさんのご健康とますますのご活躍を祈念し、年頭のあいさつといたします。

北海道民医連が設立されて、今年で三〇年を迎えます。歴史を引き継ぎ、さらに発展させる節目の年として、地域の人びとや患者さんの視点に立った医療・介護活動をさら

にすすめましょう。この間、医療費抑制政策のもと、北海道では医療崩壊が進行しています。一方、慢性的な医師・看護師不足の声は全道・全国で大きなうねりとなり、二度にわたる国会での「看護師増員」の決議、

昨年十一月十七日の「医師不足問題を考える道民と医療者のつどい」の成功は、「もうこれ以上我慢できない！」という住民の願いに込める医療従事者などの声が反映されたものとなりまして、また、後期高齢者医

療制度導入などへの反対運動は、瞬く間に全道・全国を駆けめぐり、「命に年令の差別は許さない」と大きく広がっています。

平和あつての命です。二十六万人を超える友の会の皆さんと共に、憲法第九条・第二十五条を守り活かし、安心して住み続けられるまちづくりを進めましょう。

皆さんが健康で活躍できることを心から期待し、年頭のあいさつと致します。

みなさん、新年おめでとうございます。先ずはじめに、昨年十一月に全道で取り組んだ「共同組織拡大・強化月間」において多くの新しい仲間を迎えることができたことにたいし、ご奮闘いただいたみなさんに、深く感謝いたしま

第9回友の会世話人交流会

～企画のご案内～

I. 全体講演

講演 安心して住み続けられる居場所・地域づくりの実践から
～高齢者向け共同住宅

ハンズの取り組みにふれながら～

講師 室田ちひろさん(勤医協在宅福祉協会 東在宅総合支援センター長)

II. 分科会

- ①「安心して住み続けられる居場所・地域づくりを語る」
- ②介護実践者を囲んで
- ③ドクターと気軽にトーク
- ④「百人一首」を楽しもう
- ⑤料理教室
- ⑥「ふまねっと」を楽しもう -健康づくり-

III. 夕食交流

①友の会からの出し物 他

日程 2008年1月19日(土)～20日(日)
場所 十勝川温泉 笹井ホテル

友の会から

新年のメッセージ

地道な活動を

豊頃友の会



岩井 明

初春のお喜びを申し上げます。さて、多くの会員を抱えながら、長年にわたり活動が休止状況でしたが、昨年度から、「友の会ニュース」の配達、健康相談会の開催など、地道な活動を繰り返しています。今では、会員より「定期的に健康相談会を」「各

友の会連絡先に豊頃がないのはなぜ」などの意見なども述べられ、返答に困る質問もありますが、相談会を通じて会員が増えるなど、明るい展望が開かれています。

新年度は、定期的な健康相談会に取り組むとともに、医療制度改善に対する署名活動にも会員相互の連携により積極的に取り組んでいきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願ひします。



四分割へ討議

音更友の会



重堂 登

新しい年と共に「音更友の会」は二〇年ほど一つの組織として参りましたが、会員が四千人を超えて大組織になりました。四月よりは、組織を四分割していく討議を進めています。

地域ごとに方針をもって活動し、会員の方々はより身近なものとして、お互いの健康を守る運動が進められ発展しますようお願いしています。

世話人さんと共に

足寄友の会



田利美智子

昨年、町立病院の診療化が打ち出され、自分の町の医療水準が下がる事は、即、命と健康にかかわるものであり、町民の中に大きな不安が広がっています。世話人さんの協力で、一二月までに三回の健康相談会を開催し、参加者の皆さんから喜ばれました。

今年、町立病院の診療化問題と合わせて、予防医療の前進という思いと、足寄でどんな医療が求められているかをつかみ、それに見合った活動を具体化できるよう世話人の皆さんと取り組んで行きたい。また、毎年恒例の東家夢助師匠の新春初笑いで新年のスタートをきりたいと思います。

ウエス切り

“次回いつするの”

稲田友の会

私たちの友の会ではこのほど近所の世話人と会員七人が集まり、ウエス切りを行いました。最初は清拭布を個人で切っていました。途中からみんなでやるとういうことになり、すでに一三回繰り返しています。

頭の体操

太枠の文字を組み合わせてできた言葉を並び替えて、意味のある言葉を答えてください。

1		2	3		9	
4						
				8		14
15	5		7			
			11	12		
6						13
				10		

よこ

- ① 2本の竹ざおの途中で横木をつけ、それに足をのせて歩くもの
- ④ 手の先の方、手先
- ⑥ 雪を降らせる雲
- ⑦ 映画などを撮ること
- ⑨ 四季のひとつ(冬のあと)
- ⑩ 絵を連続させる「少年〇〇〇」
- ⑪ 記録、陸上など競技の記録
- ⑬ (旧)の反対
- ⑮ 脳〇〇、心臓〇〇

たて

- ① 空たかくあげること
- ② 一般に耳が長く、後ろ肢は長い
- ③ 燃料にするために、適当な大きさに切った木
- ⑤ 葉の落ちつくした木
- ⑥ 空から降ってくる。気温や水蒸気の量によって形は色々変わる
- ⑦ 鮭(さけ)
- ⑧ 人口〇〇〇が高い
- ⑨ 植物。〇〇を植える
- ⑫ 小さなクマ
- ⑭ 海の表面

答え「〇〇〇〇」
「」の中の文字を記入して送ってください。

作業中は部屋の換気システムを作動させますが、それでも綿埃りやくしゃみが出ます。せつかく提供してもらった布なので、(稲田友の会 平 麗子)



【応募方法】
解答とお名前、住所、電話番号を八ガキか電子メールで、左記へお送りください。
【第二八二号の当選者】
答えは「日進月歩」でした。
応募総数一三三通、正解者一一一通の中から抽選により、次の一〇名の方が当選しました。
(敬称略)
飯田史子・伊澤満州男・江島幾代・田辺貞明・南則子(以上帯広市)・永塚サイ子・毛利美恵子(以上音更町)・佐々木間津菊(芽室町)・浦ひさ江(本別町)・田村富美夫(足寄町)

【賞品】
新年お年玉スペシャルとして抽選で二〇名の方に、千円分の図書カードをお送りします。(新年号のみ)
※頭の体操の問題を募集しています。採用の際には、図書カードを贈呈します。

【締め切り】
一月二〇日(当日消印)

年に一度、健診をうけませんか？

友の会休日健診のご案内

日時：2008年2月3日(日) ①9時～ ②10時～
場所：十勝勤医協帯広病院(お電話頂いた際にご希望を伺います)
対象は帯広市民
金額は、①国民健康保険加入者と70歳以上の方は無料
②35歳以上で友の会員の方は500円。
項目【身長・体重・血圧測定・診察・尿検査・血液検査・心電図・胸部レントゲン(友の会員のみ)】
申し込み、問い合わせは十勝勤医協帯広病院(21-4111)三浦まで。
尚、帯広市以外に在住の方で、健診をご希望する方は、別途ご相談ください。
当日、交通手段のない方はご相談ください。
(帯広市西9条南12丁目4番地)